



## 「福澤育林友の会」ニュース

第26号 発行日2014年8月1日

福澤育林友の会  
東京都港区三田2-15-45 慶應義塾 管財部  
TEL:03-5427-1050 FAX:03-5427-1190  
<http://www.f-ikurin.jp>



### 南三陸志津川の森山小屋の竣工

福澤育林友の会  
会長 渡部 直樹  
(慶應義塾常任理事)

福澤育林友の会、そして林業三田会の皆さまの物心両面のご支援のお陰で、南三陸志津川の慶應義塾の学校林内に待望の山小屋が完成しました。友の会の皆さまには、研修旅行の中のイベントとして、6月15日に行われた現地での山小屋のお披露目、そして引き続き、竣工披露式にもご出席いただきました。あらためてこの紙面をお借りしまして、皆さまのご支援、ご協力に心よりお礼申し上げます。

山小屋にはカセットタイプの小型発電機、薪ストーブ、そして太陽光パネル付きのトイレが設置されており、学校林で活動する塾生・教職員等が、着替えや休憩、悪天候時の緊急の一時避難先として利用することが出来ます。これで、学校林の中に教育、研究、ボランティア活動の拠点が誕生しました。

慶應義塾が学校林を保有することの第1の目的は、環境教育の実践にあります。育林や植林、そのためのインフラ整備という地道な活動を通じて、より普遍的な問題である地球や社会の持続可能性についても考えてもらうためです。林業に用いられる森は、決して手つかずの自然ではありません。間伐や枝打ちといった作業を適切に行うことで、はじめて維持・育成が可能となる「自然」なのです。大自然に触れるという大切な経験と共に、自然と人間の関係について、また、環境と効率との間のバランスについて、さらに、私達の社会の持続可能性について、じっくりと考えて頂くことを希望しております。

森は未来についてその可能性を大きく開けた場所です。木材を用いた住宅の良さは、世界的にも見直されており、国内材についてもその潜在的需要が大きく注目されています。また、木材自体、天然資材というだけでなく、その再利用を通じたバイオマス・エネルギー等々にも、広く目が向けられており、環境に優しい新ビジネス・市場の可能性も模索されています。山小屋が、このような研究を拓げるきっかけとなればと期待しております。



## 林業の映画「WOOD JOB!」

速水 亨 (林業三田会会員)

この春公開された「WOOD JOB! 神去なあなあ日常」という映画を知っていますか。この映画は、直木賞作家三浦しをんのベストセラー小説『神去なあなあ日常』を原作に、ウォーターボーイズで有名な矢口史靖（やくちしのぶ）監督がメガホンを取った青春林業エンタテインメント映画です。

今風の若者がひよんな成り行きで、林業の作業員として、携帯電話もつながらぬような田舎に住むことになり、周りの人々の温かい支えで、一人前の杉人に育っていくという楽しい映画です。

この小説の舞台は実は三重県で、映画の撮影も三重県内を中心に行われました。私の森林でも、ポスターに使われている大木に、主人公の平野勇気役を演じる染谷翔太と飯田ヨキ役を演じる伊藤英明が登って種を取るシーンの撮影がありました。



ヒロインの石井直紀役を演じる長澤まさみもそろっての撮影でした。

私は映画の企画の初期から関わり、監督の林業現場の視察から、台本のセリフのチェックなどいろいろな形で、この映画に関わりました。最近の映画は全てデジタルカメラでの撮影ですが、矢口監督は驚いたことに、あえてコストを掛けても森林の色にこだわりフィルムカメラで撮影し、都会のシーンだけをデジタルカメラで撮影しました。その結果は映画を見ると判ります。田舎の森林でのシーンは、目にしみる緑の清々しさで、都会のざらっとした映像とまったく違い、空気感まで変わっています。

また高い木の上に悠然と登り、怖々登っている染谷翔太を怒鳴りつける伊藤英明ですが、実は染谷翔太は高いところが得意、逆に伊藤英明は高いところはとても苦手で、登るまでぶつくと抵抗していました。ところが流石俳優、カメラが廻ると地は全く見せずに、上記のシーンとなりました。暑い日の撮影で午前中から木に登り、時々下りるぐらいで、夕方まで木の上での撮影が続き、「おっしょこ出ない」と俳優が言うほど厳しい条件でした。彼らの俳優根性を見せられた撮影現場でした。

ディズニーの「アナと雪の女王」と同時期の公開だったので、イマイチの興行成績らしいですが、都内でもまだ上映している映画館もあるそうなので、機会があれば涼みがてらご覧になって下さい。

【 <http://www.woodjob.jp/> 】

## 私の楽しい研修旅行

藤 枝 榮 子

平成26年6月14日～15日の研修旅行「志津川の森 新築山小屋を訪ねる旅」に参加した。新築された山小屋は東北復興の為に活動する拠点になるという。可愛い山小屋に多くの学生が訪れる事。南三陸の方々の笑顔が見られる事。そして、山小屋の周りに植樹した三種の桜が沢山の花を咲かせる事。これらを願い、再びこの地を訪れたいと思った。

研修旅行は鉄野先生のお誘いで「志木の森」に参加したのが初めてで、三重の山に入りバスを降りた時、吉田善三郎さんから受けた歓迎の握手は今でも忘れられない感動となった。以来、足を骨折した年以外はずっと研修旅行に参加している。その時から、木に対する私の思いは変わった。私の家の周りは樺や榛の木があり、手入れが大変で切り倒そうかと言う話が出ていたところだったが、帰宅してから木を切らない宣言をした。

「志木の森」で頂いてきたどんぐりの木は、大きくなって椎茸の楳木になり、今年は椎茸を収穫した。速水さんの山で頂いた雲竜杉は3mに成長し、挿し木をして殖やし、我が家の防風林の仲間入りをした。大木になった木々は、秋には沢山の葉を落とし、無農薬有機農業に取り組んでいる私に、畑の栄養材料を与えてくれる。

今年は、畑にセラミックを埋め込み、酵素を使って作る堆肥を入れ、自家製雑草エキスを散布した。農業体験をしたい会員さんを募り、春日部黒豆栽培に取り組んでいる。今は暑さと雑草とカナブンの戦いであるが、甘い枝豆とお正月用の黒豆が収穫できるのを楽しみに作業している。

研修旅行は、坂の無い所で生まれ育った私を歩くと息の切れる場へ連れて行ってくれる年に一度の旅行で、また、参加される皆様のお話しはどれも魅力あるもので、いつまで行けるかわかりませんが、身体がもつ限り参加する意気込みでいます。

そして、私達父兄を誘って下さいました鉄野先生と頑張って志木高校に入学してくれた息子に感謝です。



「SK(志木高校)こんわ会」 芋掘り





### 第 13 回 「森を愛する人々の集い」の案内

平成 26 年 9 月 6 日(土) 開催予定

今回で 13 回目となる「森を愛する人々の集い」の開催日時が決まりました。

今年は研修旅行と日程を交替して 9 月の開催となっております。詳細は案内をご覧の上、奮ってご参加下さいますようお願い致します。

日 時： 平成 26 年 9 月 6 日(土) 15 時 30 分～17 時(予定) [ 講演会終了後、懇親会開催予定 ]

場 所： 慶應義塾大学 三田キャンパス 「北館ホール」 (15 時開場)

演 者： 藻谷 浩介(もたにこうすけ) 氏 (日本総合研究所主席研究員、地域エコノミスト)

テーマ： 「里山資本主義における森と人々の関係」

### 平成 25 年度 福澤育林友の会 会計報告

会員：170 名 (平成 26 年 7 月 1 日現在)

| 平成 25 年度 | 収 入       | 支 出       | 摘 要              |  |
|----------|-----------|-----------|------------------|--|
| 前年度繰越金   | 2,611,099 |           |                  | 会費の口座振替について<br><br>平成 26 年度会費の口座振替予定日は平成 26 年 9 月 29 日(月)を予定しています。 |
| 会費       | 10,000    |           | H24 年度会費(1 名分)   |  |
| 〃        | 1,540,000 |           | H25 年度会費(171 名分) |  |
| 寄附金      | 120,000   | 100,000   | 南三陸山小屋建設資金他      |  |
| 事業参加費    | 1,909,000 |           | シポジウム・研修旅行       |  |
| 利息       | 475       |           | 普通預金利息           |  |
| 通信費      |           | 73,280    | ニュース・案内等発送通信費    |  |
| 事業経費     |           | 2,478,927 | シポジウム・研修旅行       |  |
| 手数料      |           | 21,840    | 会費引落サービス手数料      |  |
| 当年度収支    | 3,579,475 | 2,674,047 |                  |  |
| 次年度繰越金   | 3,516,527 |           |                  |  |